

精神科看護師の365日

平成25年度から取り組んでいる日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.9

外来ナースの1日

医療法人南江会一陽病院・外来主任・精神科認定看護師(退院調整)
橋本憲明さん(45歳・精神科看護歴14年)の場合



外来スタッフの皆さんと。後列右が橋本さん。

やりがいや励みになること

外来の仕事の面白さは、やはり地域を近く感じられることです。患者さんやご家族、支援者など、多くの地域の方々から力をいただきながら、一緒に生活を支援していくことにやりがいを感じます。また、以前に病棟で担当して退院した患者さんが外来にいらっしやって、「元気でやっているよ!」と声をかけてくださったりすると、とてもうれしく感じます。月間1000人近い受診があるため、1人1人とかかわれる時間に限りがあることに難しさを感じることもあります。できるだけ自分から話しかけるように意識しています。

精神科看護師になったきっかけ

大学を出て企業に就職し、営業職として4年ほどサラリーマン生活をしていました。バブル崩壊を機に、もともと関心のあった福祉分野で働きたいと思い、医療福祉関係の仕事をしているという友人の父に話を聞きに行ったところ、実際のお仕事は看護師で、「男性にも看護師の道がある」と知りました。准看護学校に通いながら、いまの職場で働き始めたのが精神科看護に携わるようになったきっかけです。はじめは「精神科は怖い」という先入観がありましたが、実際に病棟勤務を始めると、「患者さんはいたってフツウの人たちだ。この人たちを地域での生活に戻せるように貢献したい」という気持ちが湧き、精神科看護の魅力に目覚めていきました。

現在の仕事内容

病棟勤務を経て、2年前より外来主任を務めています。ベテランの先輩方と連携しながら、外来のサービスの一環として訪問看護も行っています。

橋本さんの

ある日のスケジュール

| | |
|-------|---|
| 8:30 | 出勤、ミーティング |
| 9:00 | 訪問看護に出発 (40km先の町まで、2件ほど訪問、戻ってから記録作成) |
| 12:20 | 昼食休憩 |
| 13:20 | 外来の診察補助、 入院受け入れ業務など |
| 15:30 | 主任委員会、在宅ケア 委員会などに出席 |
| 17:15 | 退勤 |

今後の目標

自分が以前もっていたような「精神科は怖い」という偏見は、地域にもまだまだ根強くあります。地域にとって窓口になる外来を、皆さんに身近に感じてもらうために、一層の工夫を重ねていきたいと思っています。患者さんが安心して、安定して、地域で安住できるように、スタッフと力を合わせていきたいです。